

IV 市民アンケート調査報告書 概要版<抜粋>

1 調査の実施概要

1) 調査目的

本業務は、座間市地域福祉計画（第三期）が令和2年度末で計画期間が終了することから、座間市地域福祉計画（第四期）策定のための基礎資料とすることを目的に実施する。

2) 調査対象者

- ① 令和元年10月1日時点、座間市内在住の満20歳以上の男女3,000人
- ② 住民基本台帳による無作為抽出

3) 集計の内容

① 単純集計

各質問に対する回答を集計し、グラフで報告している。

② クロス集計

回答者属性および自由記入設問を除く質問に対し、性別、年齢階層別、職業有無別、世帯構成別にクロス集計をグラフで報告している。

なお、職業の有無に関しては、以下のように分類した。

職業有：会社員、公務員、自営業（商店、企業経営など）、農林業、専門的職業（医師、看護師、弁護士、会計士、芸術家など）、その他（職業記載、派遣含む）

職業無：家事専業、無職（年金生活者など）、学生、パート、アルバイト、その他（職業記載無、空白除く）

4) 集計結果の見方

- ① 回答は小数点第2位を四捨五入し、構成比率（％）で小数点第1位までを表示している。よって、回答率の合計が100.0%にならない場合がある。
- ② 複数回答の設問の場合、比率の合計が100.0%を上回る場合がある。
- ③ 「n」は回答者数を表す。
- ④ [SA]は単一回答、[MA]は複数回答を表す。

5) 回収結果

① 調査方法

発送：郵送発送。調査票、返信用封筒を封入。

回収：郵送回収。

督促：お礼状兼督促状の発送1回。

② 調査日程

発送：令和元年11月8日（金）

期限：令和元年11月30日（土）

※集計対象は令和元年12月20日（金）までの到着分とした。

③ 回収結果

回収数：1,517件 配布数：2,999件 回収率：50.6%

2 集計結果

1) 回答者の属性

回答者の属性は以下のとおりであった。

■ 性別

	男性	女性	無回答	回答者数
件数	619	855	43	1,517
割合	40.8%	56.4%	2.8%	100.0%

■ 年齢階層別

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	無回答	回答者数
件数	105	155	234	260	296	319	109	24	15	1,517
割合	6.9%	10.2%	15.4%	17.1%	19.5%	21.0%	7.2%	1.6%	1.0%	100.0%

■ 居住地区

	相模が丘	小松原	ひばりが丘	東原	さがみ野	相武台	広野台	栗原	栗原中央	南栗原
件数	292	60	163	88	31	132	31	16	72	95
割合	19.2%	4.0%	10.7%	5.8%	2.0%	8.7%	2.0%	1.1%	4.7%	6.3%

	西栗原	緑ヶ丘	明王	立野台	入谷	入谷東	四ツ谷	新田宿	座間	無回答	回答者数
件数	26	84	6	68	103	89	32	29	80	20	1,517
割合	1.7%	5.5%	0.4%	4.5%	6.8%	5.9%	2.1%	1.9%	5.3%	1.3%	100.0%

■ 居住年数（※問3の無回答者を除く）

	件数	割合
50年以上住んでいる	210	14.0%
20～49年住んでいる	128	8.6%
10～19年住んでいる	286	19.1%
5～9年住んでいる	757	50.6%
住みはじめて5年に満たない	110	7.3%
無回答	6	0.4%
回答者数	1,497	100.0%

■ 職業

	件数	割合
会社員	387	25.5%
公務員	35	2.3%
自営業（商店、企業経営など）	44	2.9%
農林業	3	0.2%
家事専業	233	15.4%
無職（年金生活者など）	394	26.0%
学生	28	1.8%
パート、アルバイト	267	17.6%
専門的職業（医師、看護師、弁護士、会計士、芸術家など）	50	3.3%
その他	50	3.3%
無回答	26	1.7%
回答者数	1,517	100.0%

■ 家族構成

	件数	割合
ひとり暮らし世帯	188	12.4%
夫婦のみの世帯	450	29.7%
親と子の2世代世帯	701	46.2%
親と子と孫の3世代世帯	75	4.9%
その他	79	5.2%
無回答	24	1.6%
回答者数	1,517	100.0%

■ 家族構成別同居家族の属性

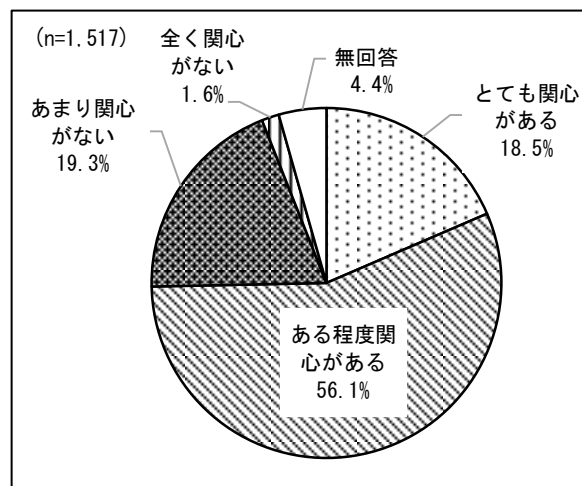
	件数	割合
乳児（1歳未満）	25	1.6%
乳児を除く小学校入学前の幼児	113	7.4%
小学生	133	8.8%
中学生・高校生	150	9.9%
高齢者（65歳以上）	541	35.7%
介護を必要とする方	74	4.9%
障がいのある方	106	7.0%
いずれもない	575	37.9%
無回答	53	3.5%
回答者数	1,517	100.0%

2) 福祉について

① 福祉への関心 [SA]

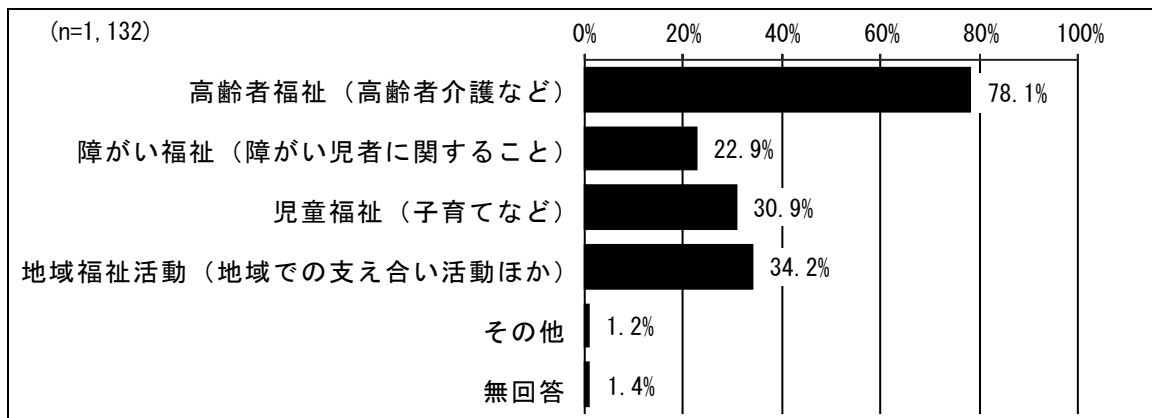
福祉への関心度についてみると、「ある程度関心がある」が56.1%で最も高く、次いで「あまり関心がない」の19.3%、「とても関心がある」の18.5%と続いている。

また、関心がある割合（「とても関心がある」と「ある程度関心がある」の合計）は74.6%となっている。



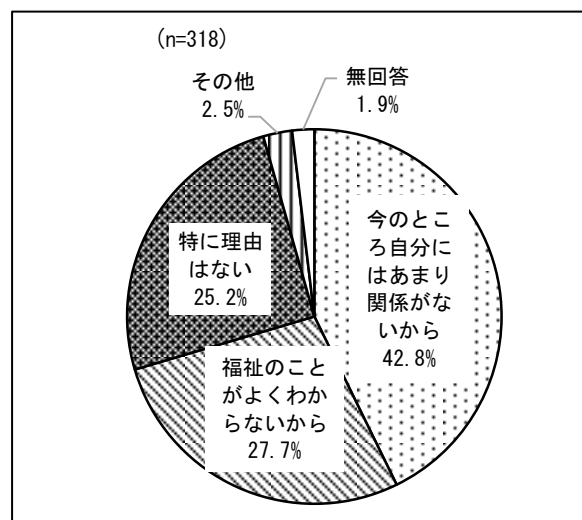
② 関心のある福祉分野 [MA]

問8において「とても関心がある」または「ある程度関心がある」と答えた方に対し、関心のある福祉分野についてみると、「高齢者福祉」が78.1%で最も高く、次いで「地域福祉活動」の34.2%、「児童福祉」の30.9%と続いている。



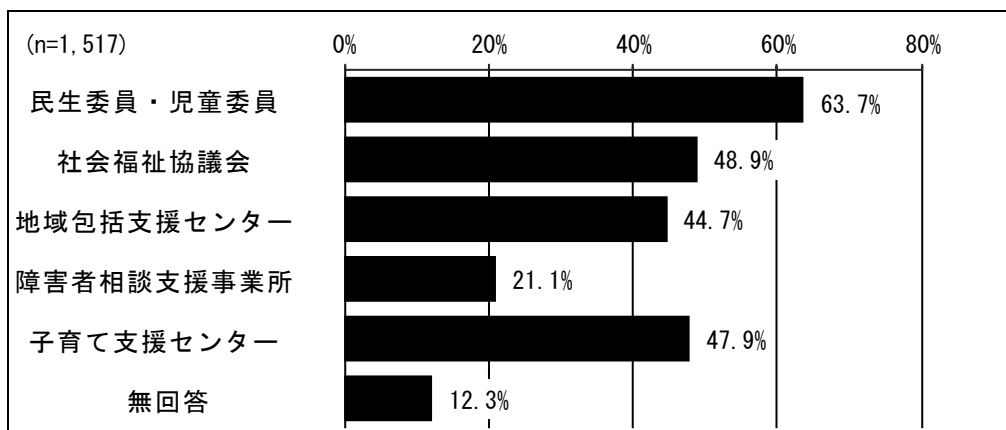
③ 関心がない理由 [SA]

問8において「あまり関心がない」または「全く関心がない」と答えた人に対し、関心がない理由についてみると、「今のところ自分にはあまり関係がないから」が42.8%で最も高く、次いで「福祉のことがよくわからないから」の27.7%、「特に理由はない」の25.2%と続いている。



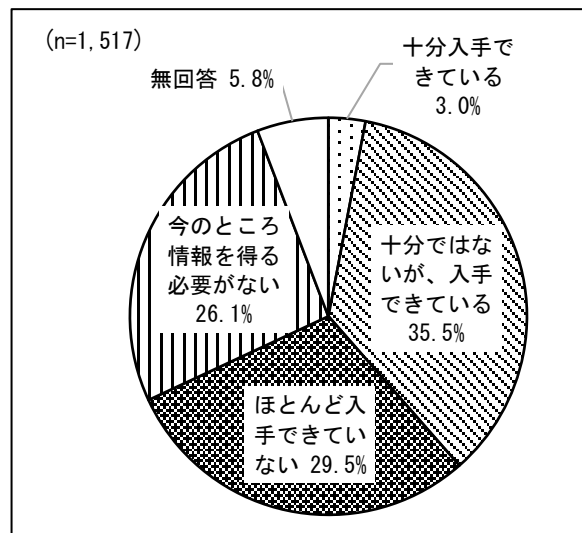
④ 福祉サービス団体や機関の認知度 [MA]

福祉サービス団体や機関の認知度については、「民生委員・児童委員」が63.7%で最も高く、次いで「社会福祉協議会」の48.9%、「子育て支援センター」の47.9%と続いている。



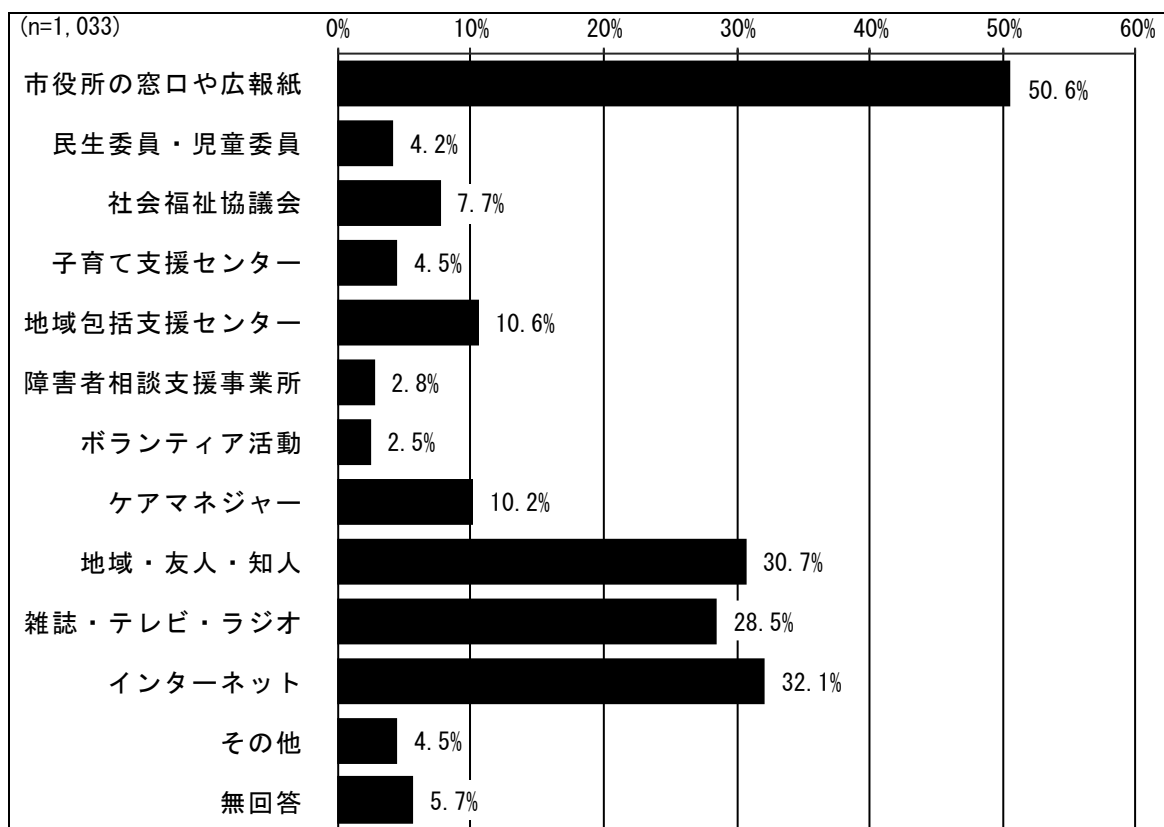
⑤ 福祉サービス情報の入手程度 [SA]

自分に必要な福祉サービスの情報をどの程度入手できているかについては、「十分ではないが、入手できている」が35.5%で最も高く、次いで「ほとんど入手できていない」の29.5%、「今のところ情報を得る必要がない」の26.1%と続いている。



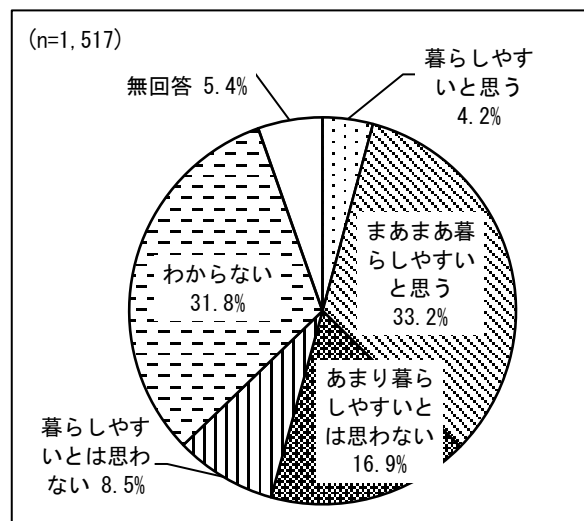
⑥ 福祉サービス情報の入手場所 [MA]

問10で「十分入手できている」「十分ではないが、入手できている」「ほとんど入手できていない」と答えた人に対し、主な情報の入手場所についてみると、「市役所の窓口や広報紙」が50.6%で最も高く、次いで「インターネット」の32.1%、「地域・友人・知人」の30.7%と続いている。



⑦ 暮らしやすさ [SA]

暮らしやすさについてみると、「まあまあ暮らしやすいと思う」が33.2%で最も高く、次いで「わからない」の31.8%、「あまり暮らしやすいとは思わない」の16.9%と続いている。



⑧ 暮らしやすさ・暮らしにくさの理由 (自由記入)

問11で「暮らしやすいと思う」と答えた方について、その理由をみると、「生活の便が良い」が最も多く、次いで「環境が良い(緑が多い)」、「福祉が充実している」と続いている。

また、問11で「まあまあ暮らしやすいと思う」と答えた方について、その理由をみると、「特に不満や不便を感じない」が最も多く、「生活の便が良い」、「子育て支援が十分にある」と続いている。

一方、問11で「あまり暮らしやすいとは思わない」と答えた方について、その理由をみると、福祉関連では「施設が不十分」が最も多く、「他の自治体よりサービスが悪い」と続いている。また、福祉関連以外では「道路・歩道等の設備が不十分」が最も多く、「交通の便が悪い」、「道路環境が悪い(坂道・狭い道)」と続いている。

また、問11で「暮らしやすいとは思わない」と答えた方について、その理由をみると、福祉関連では「他の自治体よりサービスが悪い」が最も多く、「子育て支援が不十分」、「情報が不足している」と続いている。また、福祉関連以外では「道路・歩道等の設備が不十分」が最も多く、「交通の便が悪い」と続いている。

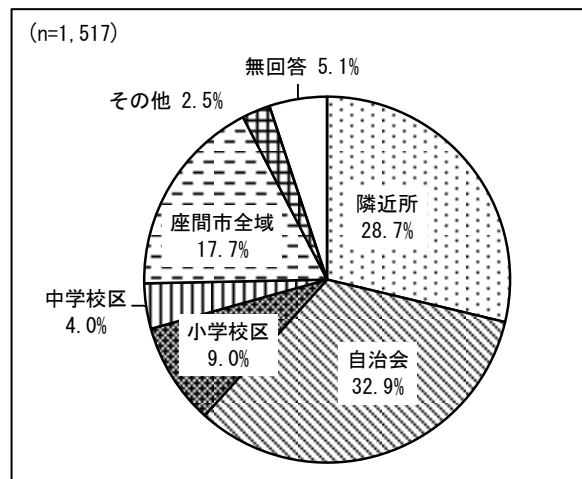
理由 (上位5項目)

暮らしやすいと思う		まあまあ暮らしやすいと思う	
	件数		件数
生活の便が良い	8	特に不満や不便を感じない	24
環境が良い(緑が多い)	7	生活の便が良い	23
福祉が充実している	6	子育て支援が十分にある	18
周囲との人間関係が良い	5	環境が良い(緑が多い)	15
行政・市職員の対応が丁寧	5	福祉が充実している	15
あまり暮らしやすいとは思わない		暮らしやすいとは思わない	
	件数		件数
道路・歩道等の設備が不十分	29	道路・歩道等の設備が不十分	26
交通の便が悪い	28	他の自治体よりサービスが悪い	11
道路環境が悪い(坂道・狭い道)	23	子育て支援が不十分	11
施設が不十分	19	情報が不足している	8
他の自治体よりサービスが悪い	14	交通の便が悪い	7

3) 地域との関わり

① 地域の範囲 [SA]

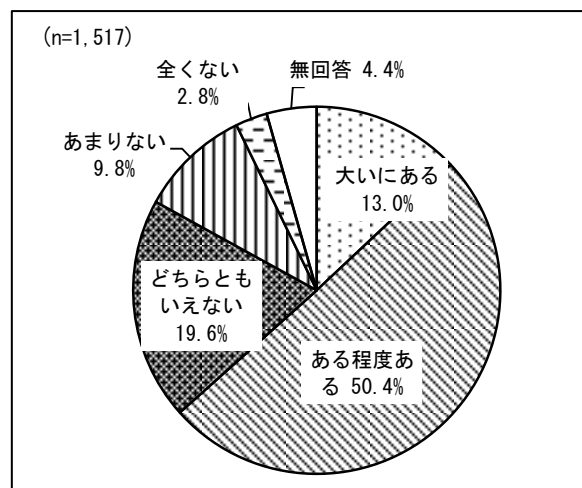
回答者の考える地域の範囲については、「自治会」が32.9%で最も高く、次いで「隣近所」の28.7%、「座間市全域」の17.7%となっている。



② 地域への愛着度 [SA]

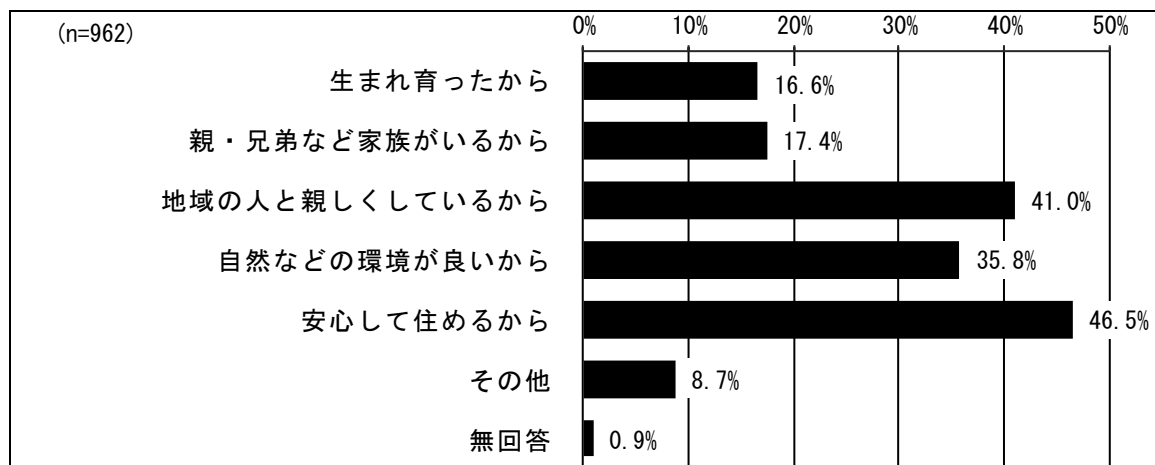
地域への愛着度についてみると、「ある程度ある」が50.4%で最も高く、次いで「どちらともいえない」の19.6%、「大いにある」の13.0%と続いている。

また、地域への愛着がある割合（「大いにある」と「ある程度ある」の合計）が60%以上と高くなっており、地域への愛着の高さがうかがえる。



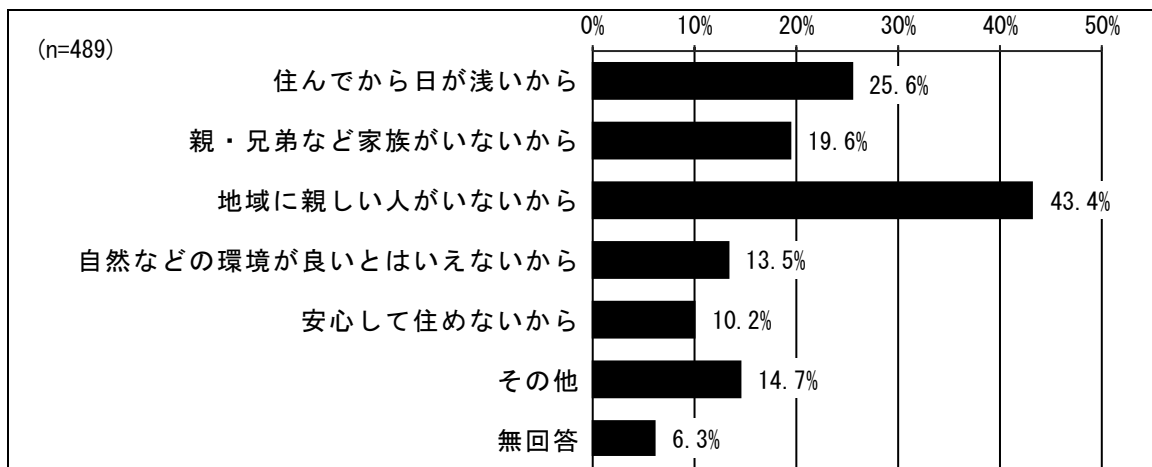
③ 愛着を感じる理由 [MA]

問13において「大いにある」または「ある程度ある」と答えた人に対し、愛着を感じる理由についてみると、「安心して住めるから」が46.5%で最も高く、次いで「地域の人と親しくしているから」の41.0%、「自然などの環境が良いから」の35.8%と続いている。



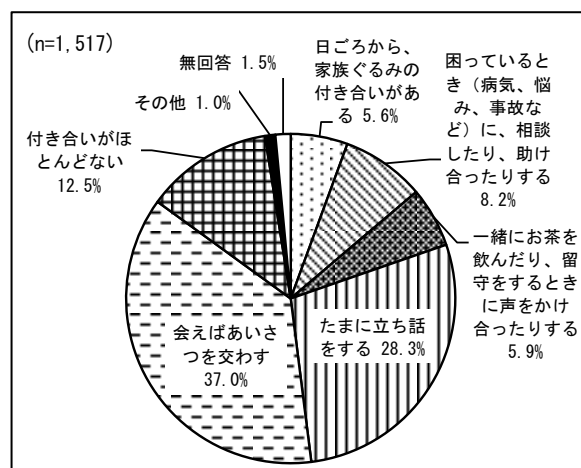
④ 愛着を感じない理由 [MA]

問13において「どちらともいえない」「あまりない」「全くない」と答えた人に対し、愛着を感じない理由についてみると、「地域に親しい人がいないから」が43.4%で最も高く、次いで「住んでから日が浅いから」の25.6%、「親・兄弟など家族がいないから」の19.6%と続いている。



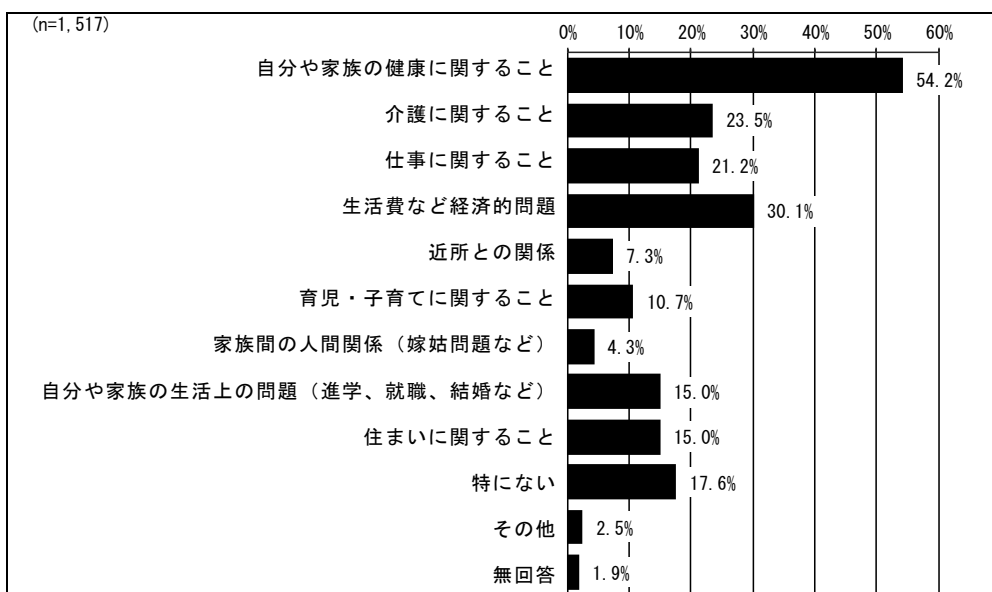
⑤ 近所との付き合い [SA]

近所との付き合いの程度についてみると、「会えばあいさつを交わす」が37.0%で最も高く、次いで「たまに立ち話をする」の28.3%、「付き合いがほとんどない」の12.5%と続いている。



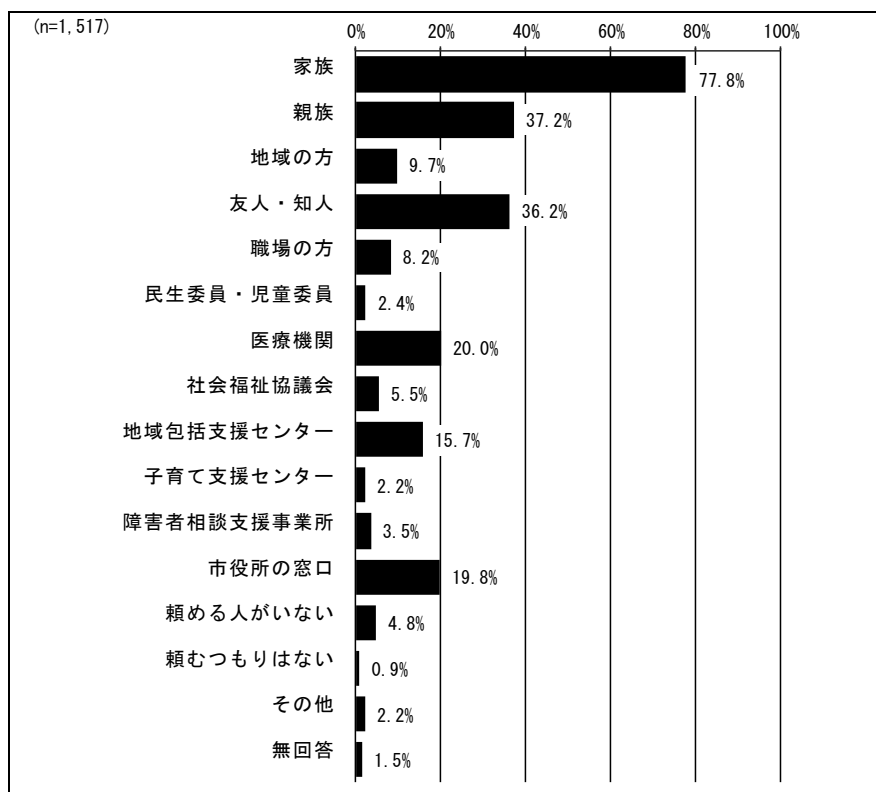
⑥ 毎日の暮らしの中での悩み [MA]

毎日の暮らしの中での悩みについてみると、「自分や家族の健康に関すること」が54.2%で最も高く、次いで「生活費など経済的問題」の30.1%、「介護に関すること」の23.5%と続いている。



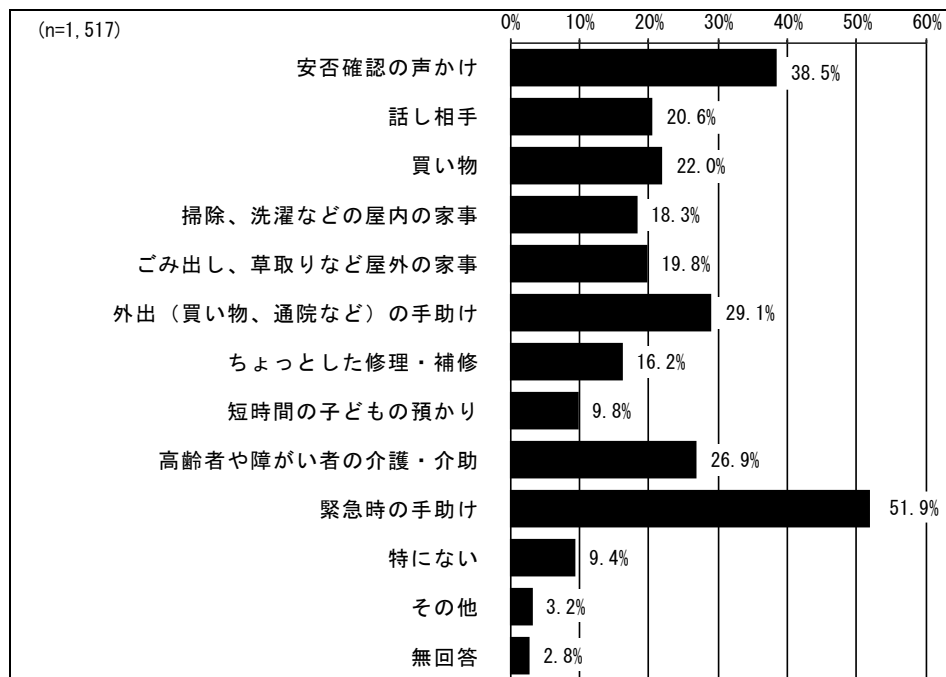
⑦ 援助・相談相手 [MA]

相談や助けが必要なときの援助・相談相手についてみると、「家族」が77.8%で最も高く、次いで「親族」の37.2%、「友人・知人」の36.2%と続いている。



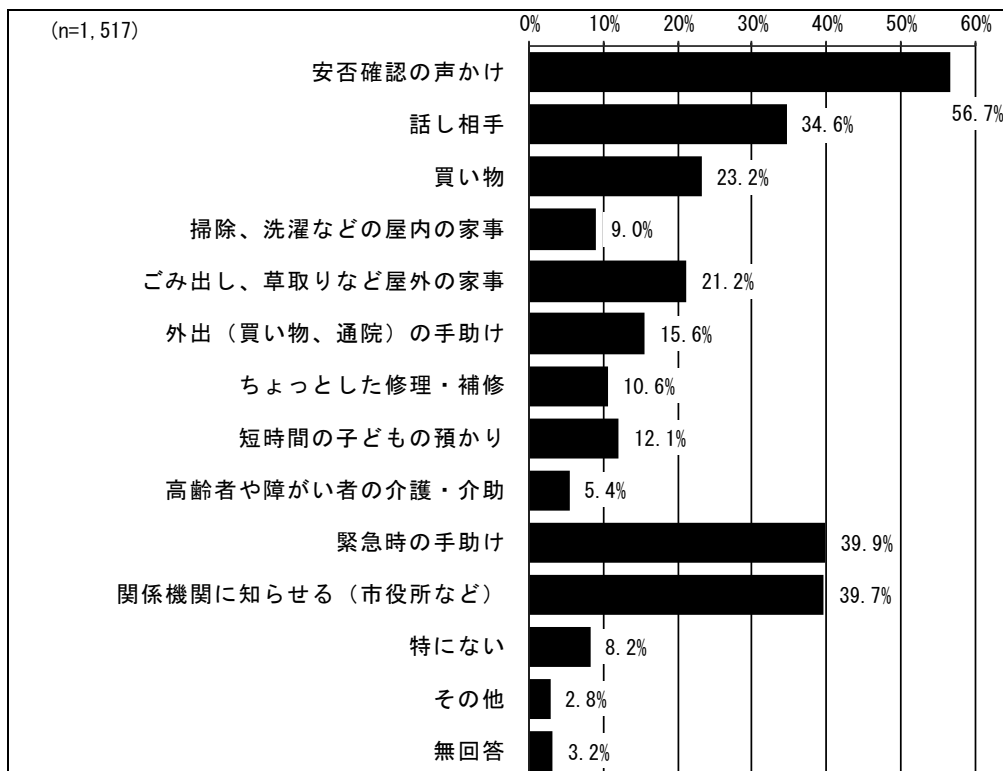
⑧ 手助けしてほしい事 [MA]

地域の方に手助けしてほしい事についてみると、「緊急時の手助け」が51.9%で最も高く、次いで「安否確認の声かけ」の38.5%、「外出（買い物・通院など）の手助け」の29.1%と続いている。



⑨ 手助けできる事 [MA]

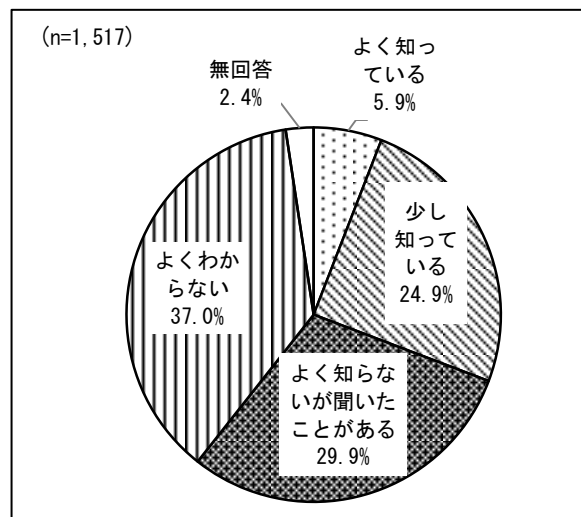
手助けできる事についてみると、「安否確認の声かけ」が56.7%で最も高く、次いで「緊急時の手助け」の39.9%、「関係機関に知らせる（市役所など）」の39.7%と続いている。



⑩ 成年後見制度の認知度 [SA]

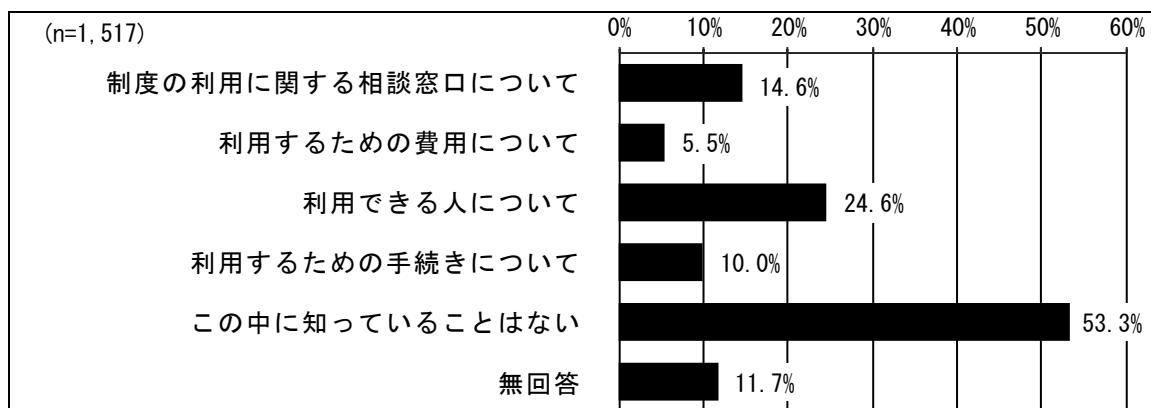
成年後見制度の認知度についてみると、「よくわからない」が37.0%で最も高く、次いで「よく知らないが聞いたことがある」の29.9%、「少し知っている」の24.9%と続いている。

また、知っている割合（「よく知っている」と「少し知っている」の合計）は30.8%となっている。



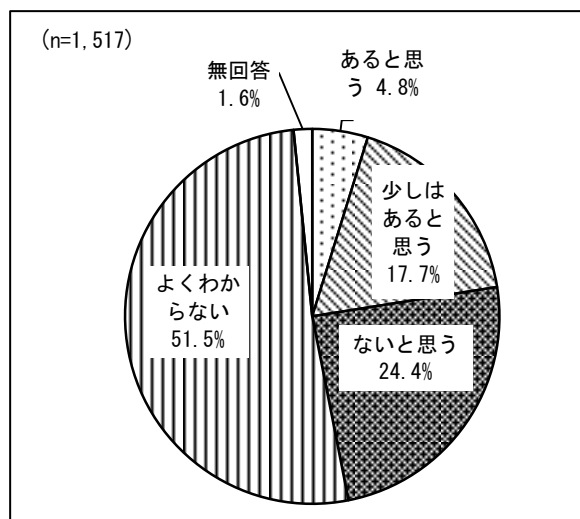
⑪ 知っている内容 [MA]

成年後見制度について知っている事をみると、「この中に知っていることはない」が53.3%で最も高く、次いで「利用できる人について」の24.6%、「制度の利用に関する相談窓口について」の14.6%と続いている。



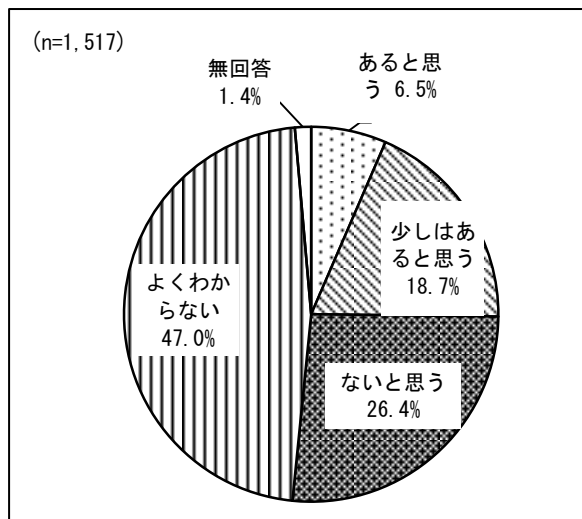
⑫ 障がい理由とした差別や偏見の有無 [SA]

障がいを理由とした差別や偏見の有無についてみると、「よくわからない」が51.5%で最も高く、次いで「ないと思う」の24.4%、「少しはあると思う」の17.7%と続いている。



⑬ 高齢者・障がい者・子どもなどへの虐待の有無 [SA]

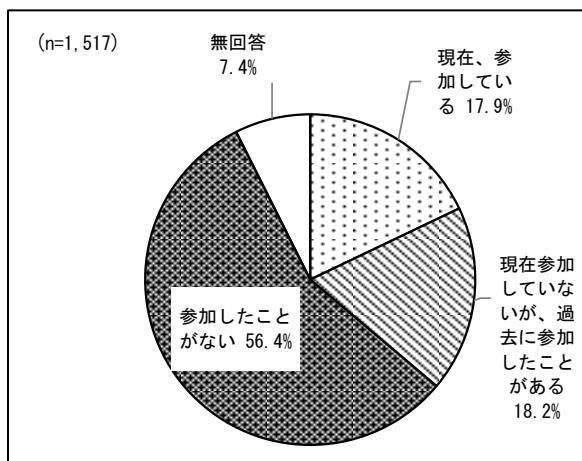
高齢者や障がいのある方、子どもなどへの虐待の有無についてみると、「よくわからない」が47.0%で最も高く、次いで「ないと思う」の26.4%、「少しはあると思う」の18.7%と続いている。



4) 地域福祉活動

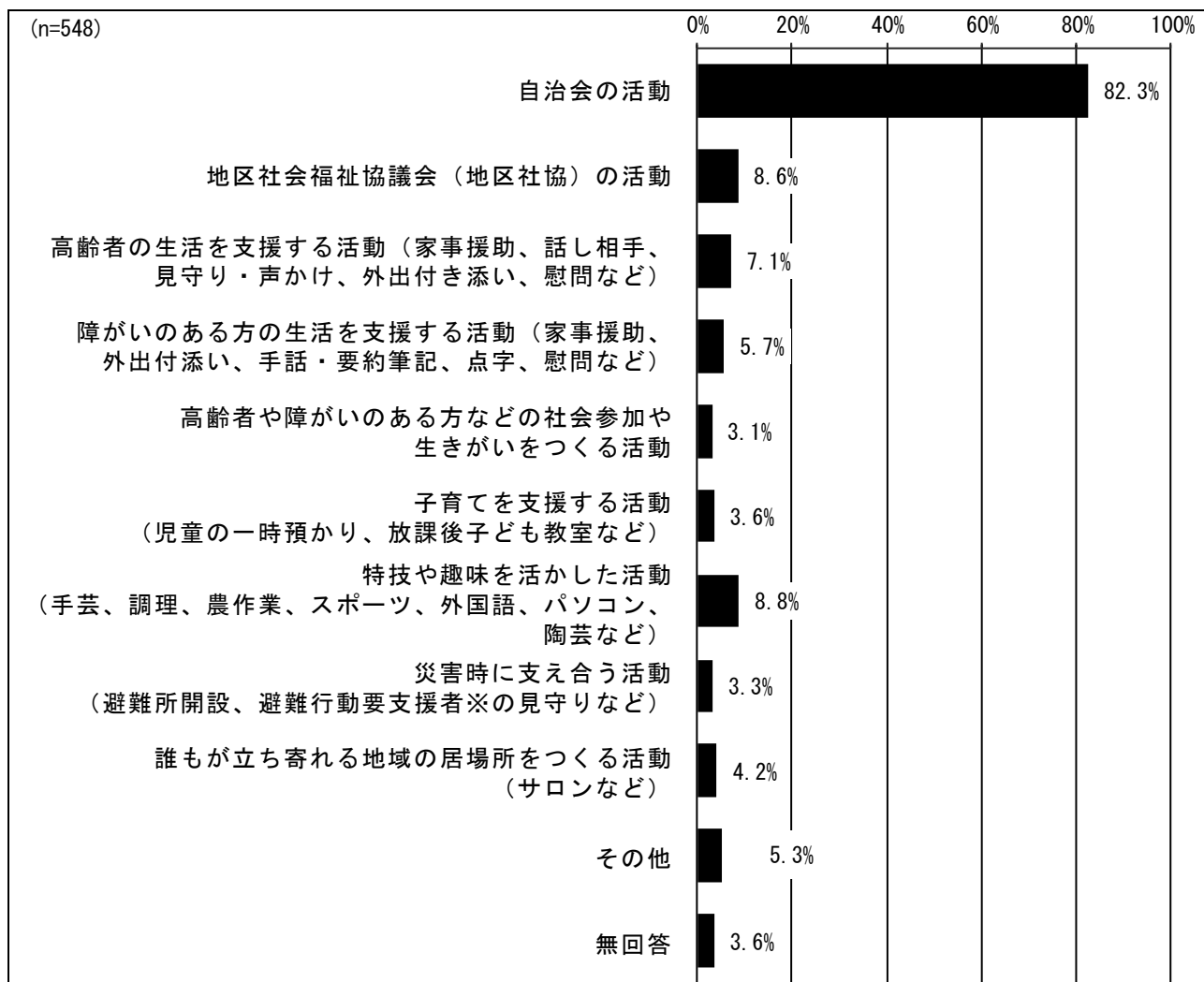
① 地域活動への参加 [SA]

地域活動や公民館などでの活動の参加状況についてみると、「参加したことがない」は56.4%で最も高いものの、次の「現在参加していないが、過去に参加したことがある」は18.2%であり、「現在、参加している」も含めた参加経験がある割合は36.1%となっている。



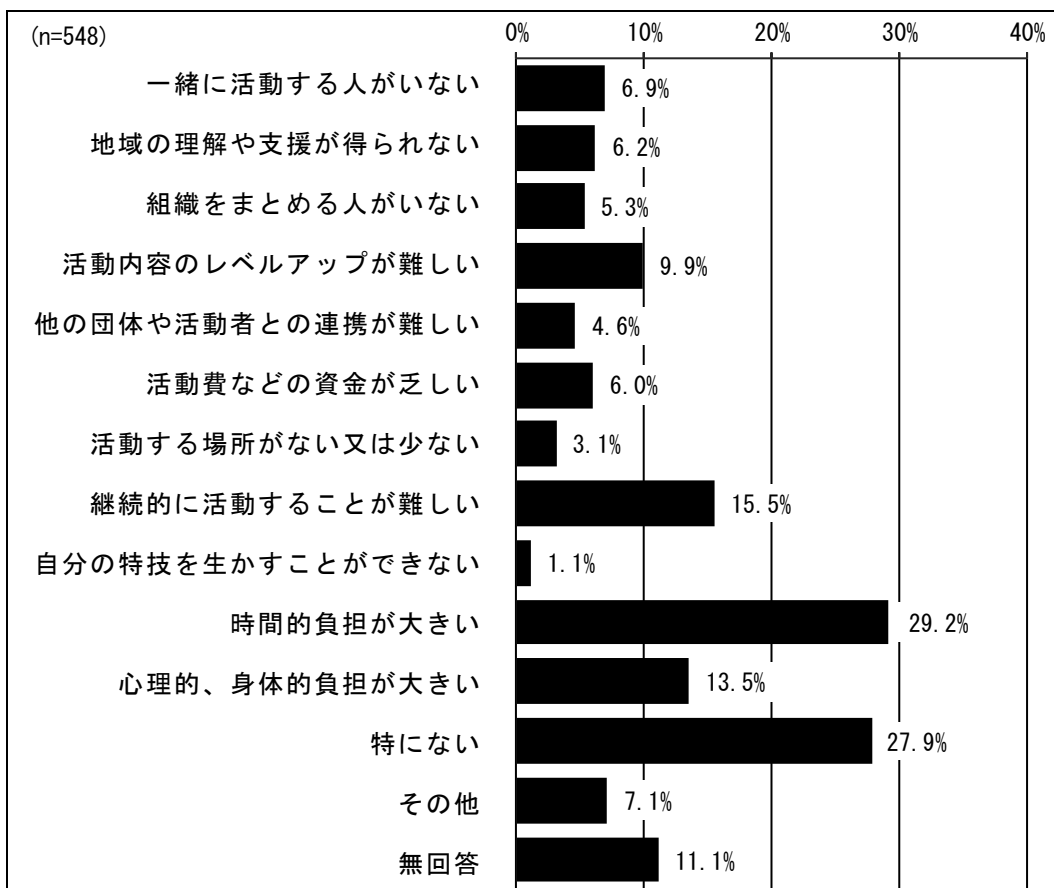
② 参加活動内容 [MA]

問23において「現在、参加している」または「現在参加していないが、過去に参加したことがある」と答えた方に対し、参加している活動内容についてみると、「自治会の活動」が82.3%で最も高く、次いで「特技や趣味を活かした活動」の8.8%、「地区社会福祉協議会の活動」の8.6%と続いている。



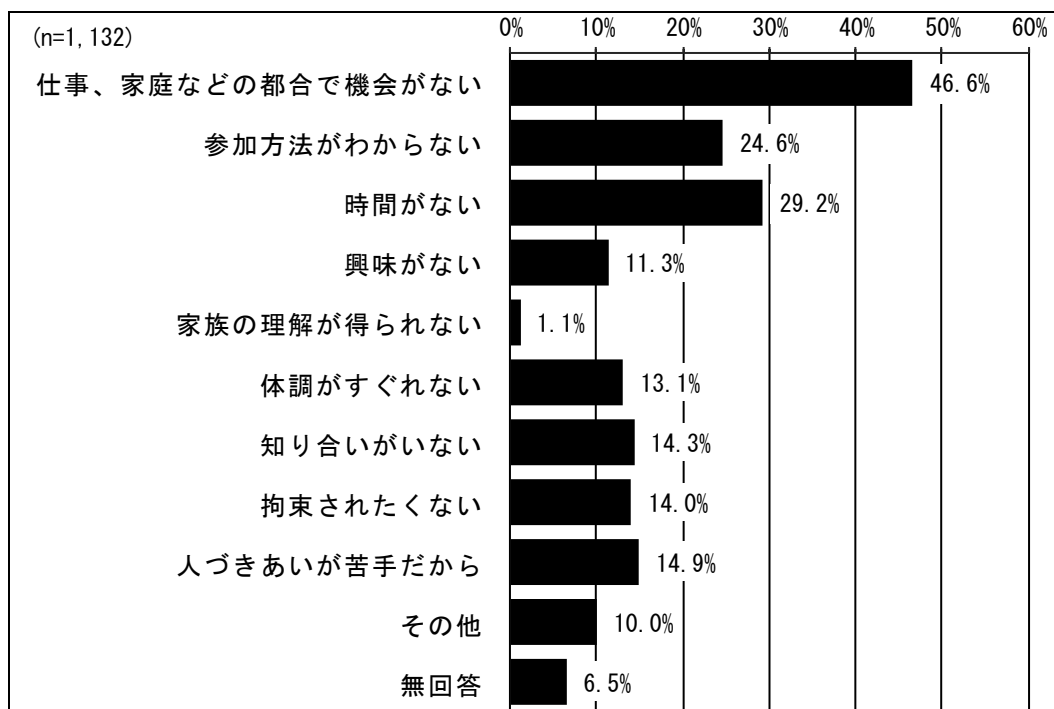
③ 活動の中で困った事 [MA]

問23において「現在、参加している」または「現在参加していないが、過去に参加したことがある」と答えた方に対し、活動の中で困った事をみると、「時間的負担が大きい」が29.2%で最も高く、次いで「特にない」の27.9%と続いている。



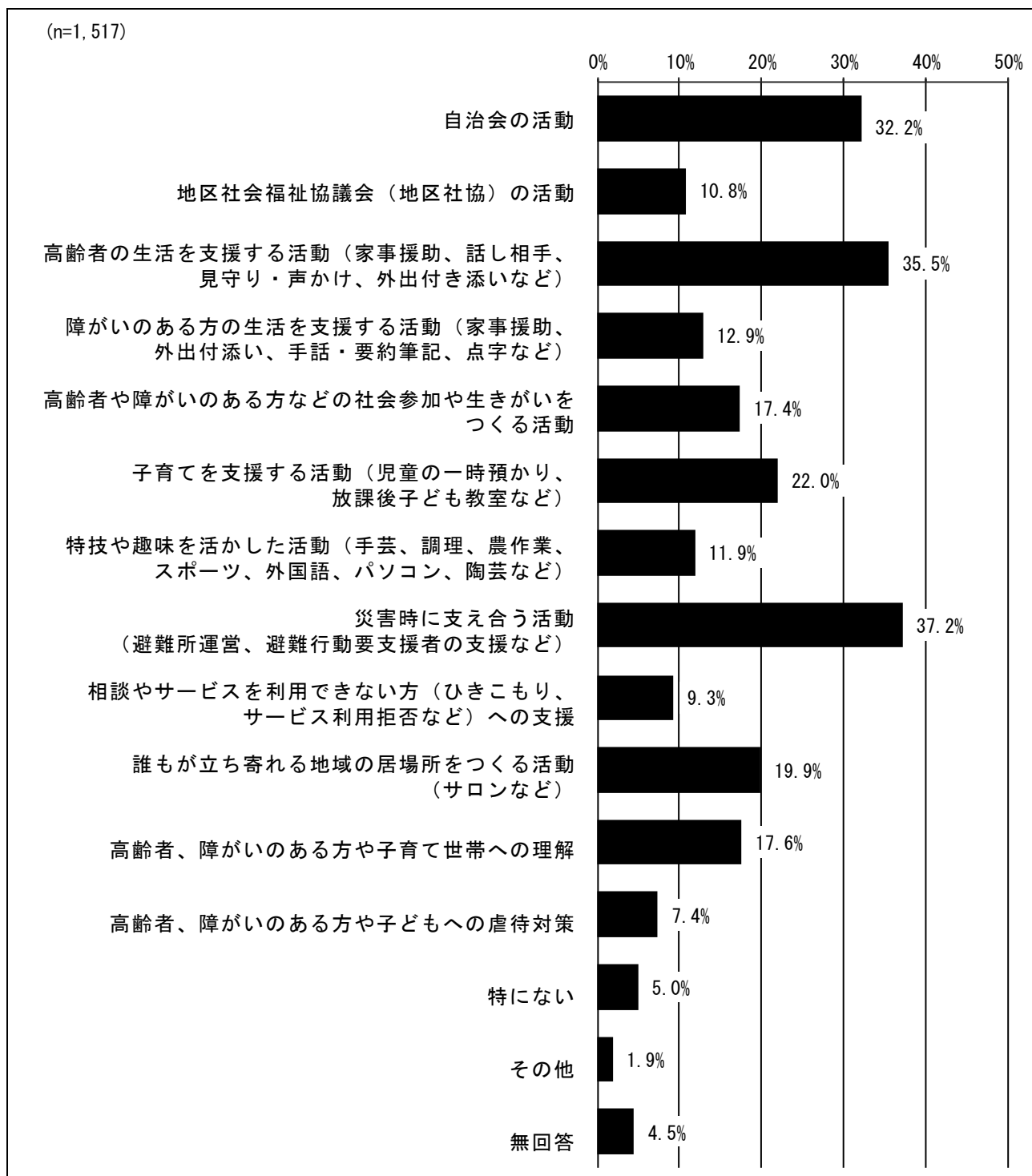
④ 参加していない理由 [MA]

問23において「現在参加していないが、過去に参加したことがある」または「参加したことがない」と答えた方に対し、参加していない理由をみると、「仕事、家庭などの都合で機会がない」が46.6%で最も高く、次いで「時間がない」の29.2%と続いている。



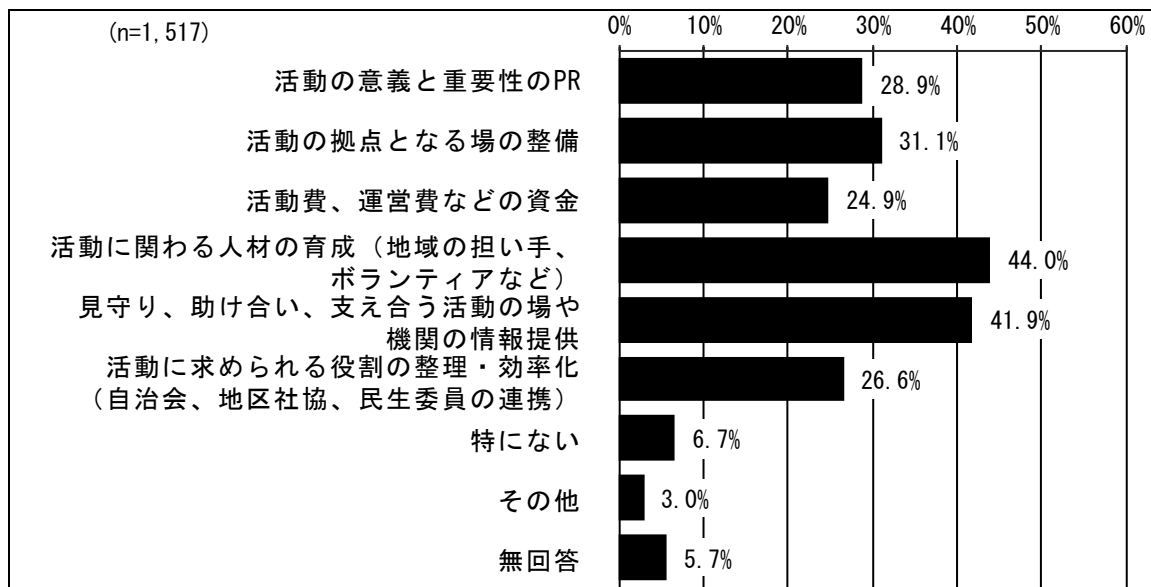
⑤ 支え合う活動の中で必要だと思うもの [MA]

支え合う活動の中で必要だと思うものについてみると、「災害時に支え合う活動（避難所運営、避難行動要支援者の支援など）」が37.2%で最も高く、次いで「高齢者の生活を支援する活動（家事援助、話し相手、見守り・声かけ、外出付き添いなど）」の35.5%、「自治会の活動」の32.2%と続いている。



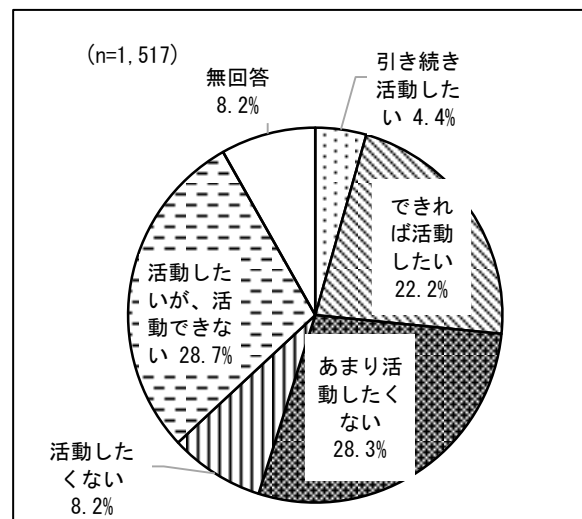
⑥ 支え合う活動を活発にするために必要な事 [MA]

支え合う活動を活発にするために必要と思われる事についてみると、「活動に関わる人材の育成（地域の担い手、ボランティアなど）」が44.0%で最も高く、次いで「見守り、助け合い、支え合う活動の場や機関の情報提供」の41.9%、「活動の拠点となる場の整備」の31.1%と続いている。



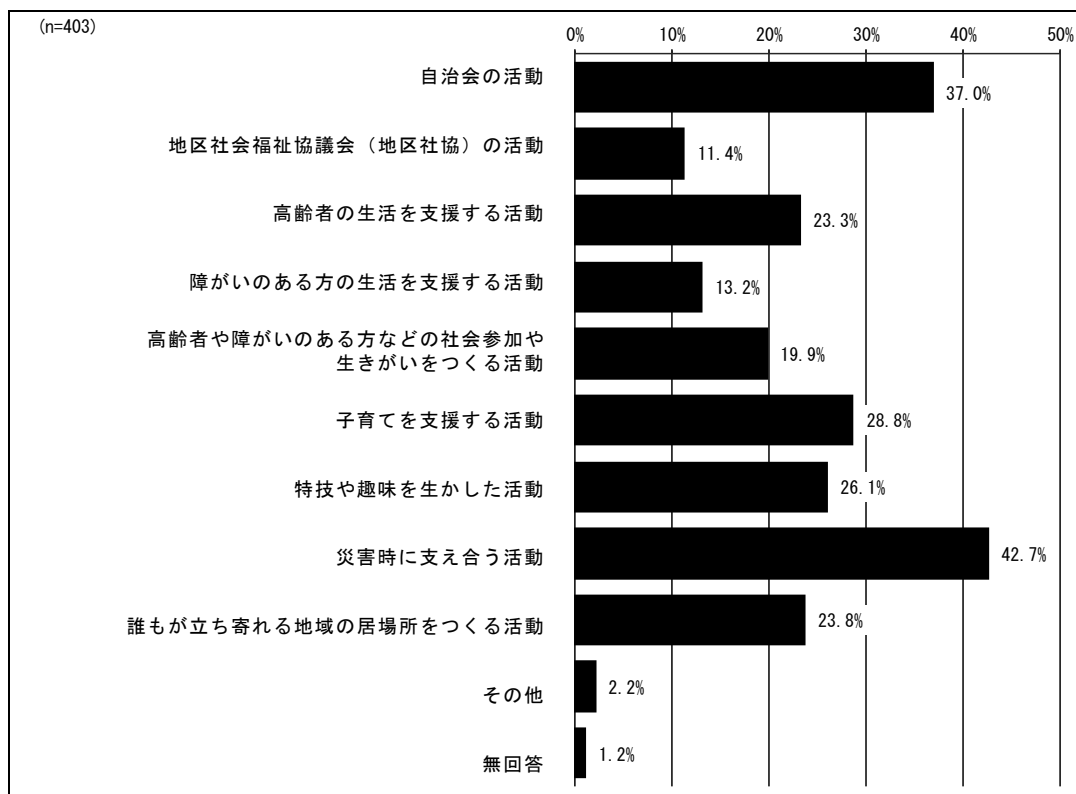
⑦ 今後の地域福祉活動への参加意向 [SA]

今後の地域福祉活動への参加意向についてみると、「活動したいが、活動できない」が28.7%で最も高く、次いで「あまり活動したくない」の28.3%、「できれば活動したい」の22.2%と続いている。



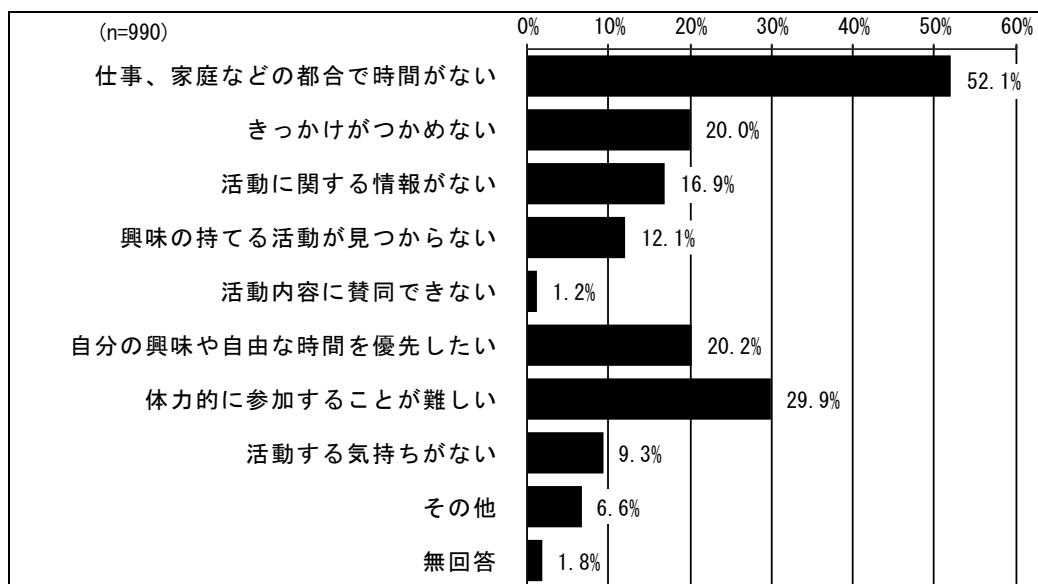
⑧ 参加したい活動内容 [MA]

問26で「大いに活動したい」または「できれば活動したい」と答えた人に対し、参加したい活動内容についてみると、「災害時に支え合う活動」が42.7%で最も高く、次いで「自治会の活動」の37.0%、「子育てを支援する活動」の28.8%と続いている。



⑨ 参加したくない理由 [MA]

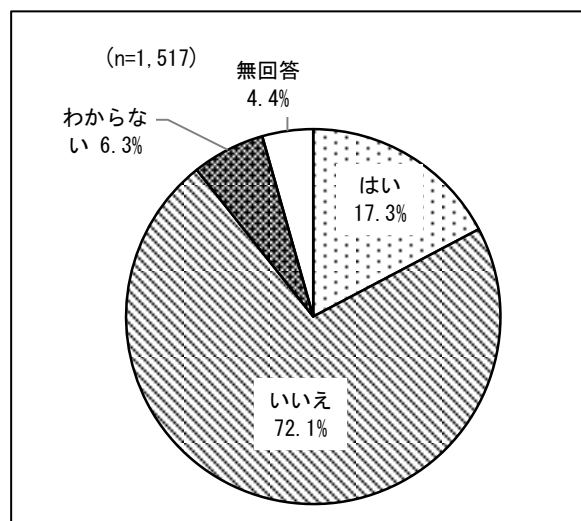
問26について「あまり活動したくない」「活動したくない」「活動したいが、活動できない」と答えた人に対し、その理由についてみると、「仕事、家庭などの都合で忙しく時間がない」が52.1%で最も高く、次いで「体力的に参加することが難しい」の29.9%、「自分の興味や自由な時間を優先したい」の20.2%と続いている。



5) 防災との関わり

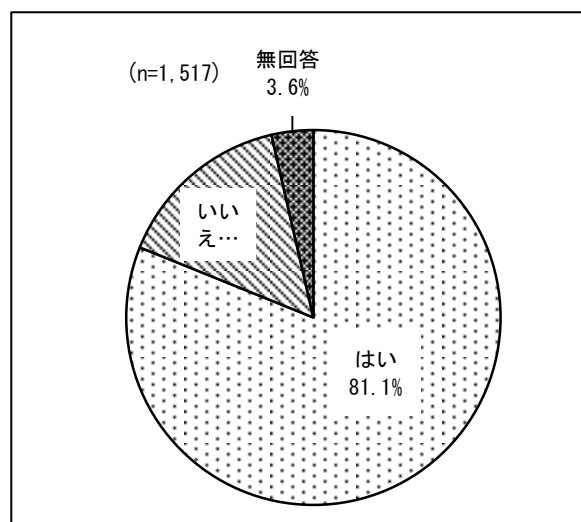
① 防災訓練の参加状況 [SA]

日ごろからの地域の防災訓練への参加状況についてみると、「いいえ」が72.1%で最も高くなっている。



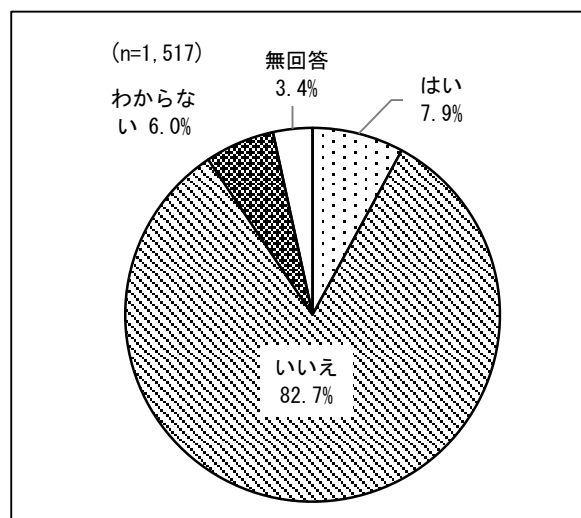
② 避難所の認知度 [SA]

避難所の認知状況についてみると、「はい」が81.1%で最も高くなっている。



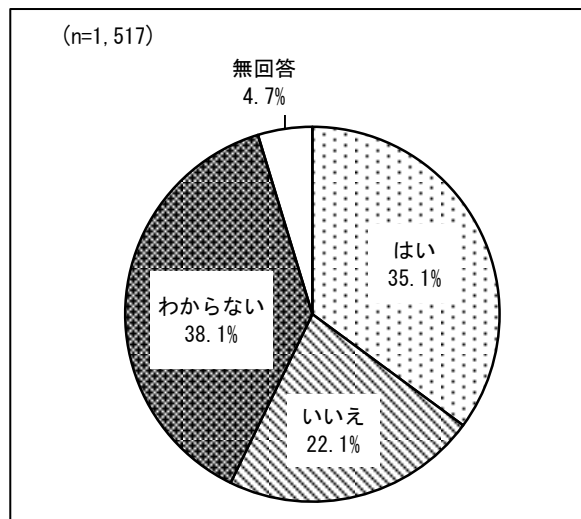
③ 災害時における手助けの必要性 [SA]

災害時における避難所への誘導などの手助けの必要性についてみると、「いいえ」が82.7%で最も高くなっている。



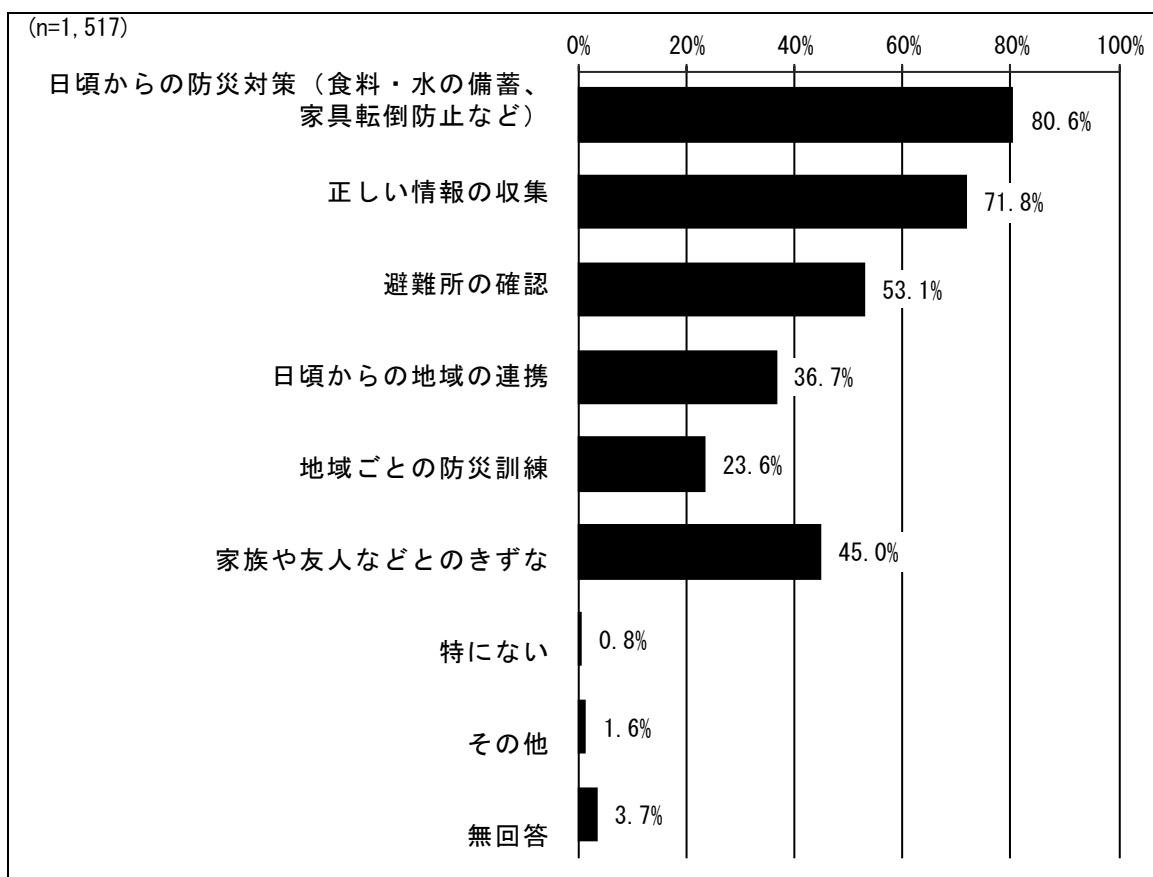
④ 災害時における手助けの可能性 [SA]

災害時に避難行動要支援者（高齢者世帯や障がいのある方など）への避難などの手助けの可能性についてみると、「わからない」が38.1%で最も高く、次いで「はい」の35.1%と続いている。



⑤ 災害時に必要な備え [MA]

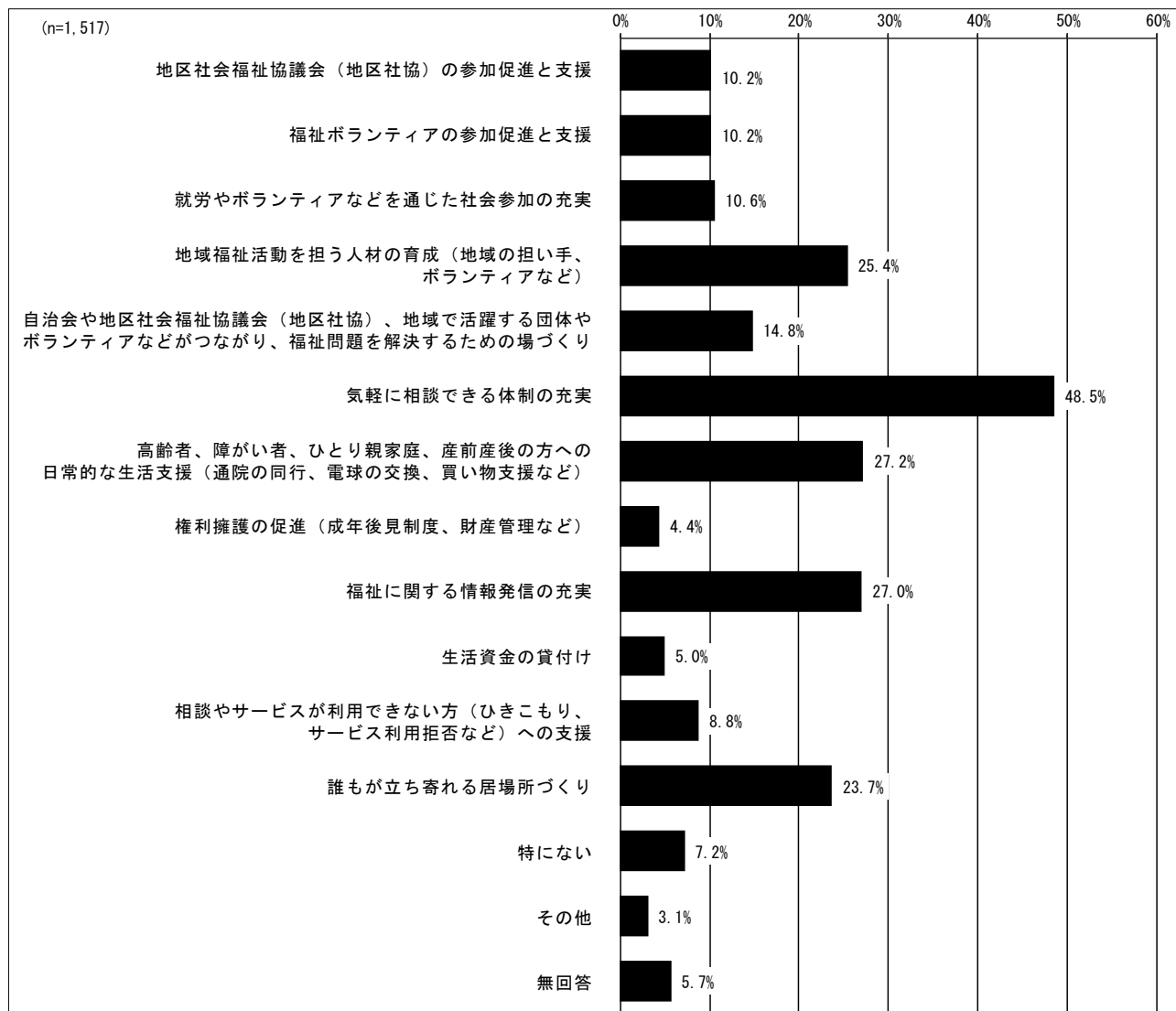
災害への備えとして必要だと思うものについてみると、「日頃からの防災対策（食料・水の備蓄、家具転倒防止など）」が80.6%で最も高く、次いで「正しい情報の収集」の71.8%、「避難所の確認」の53.1%と続いている。



6) 地域福祉の在り方

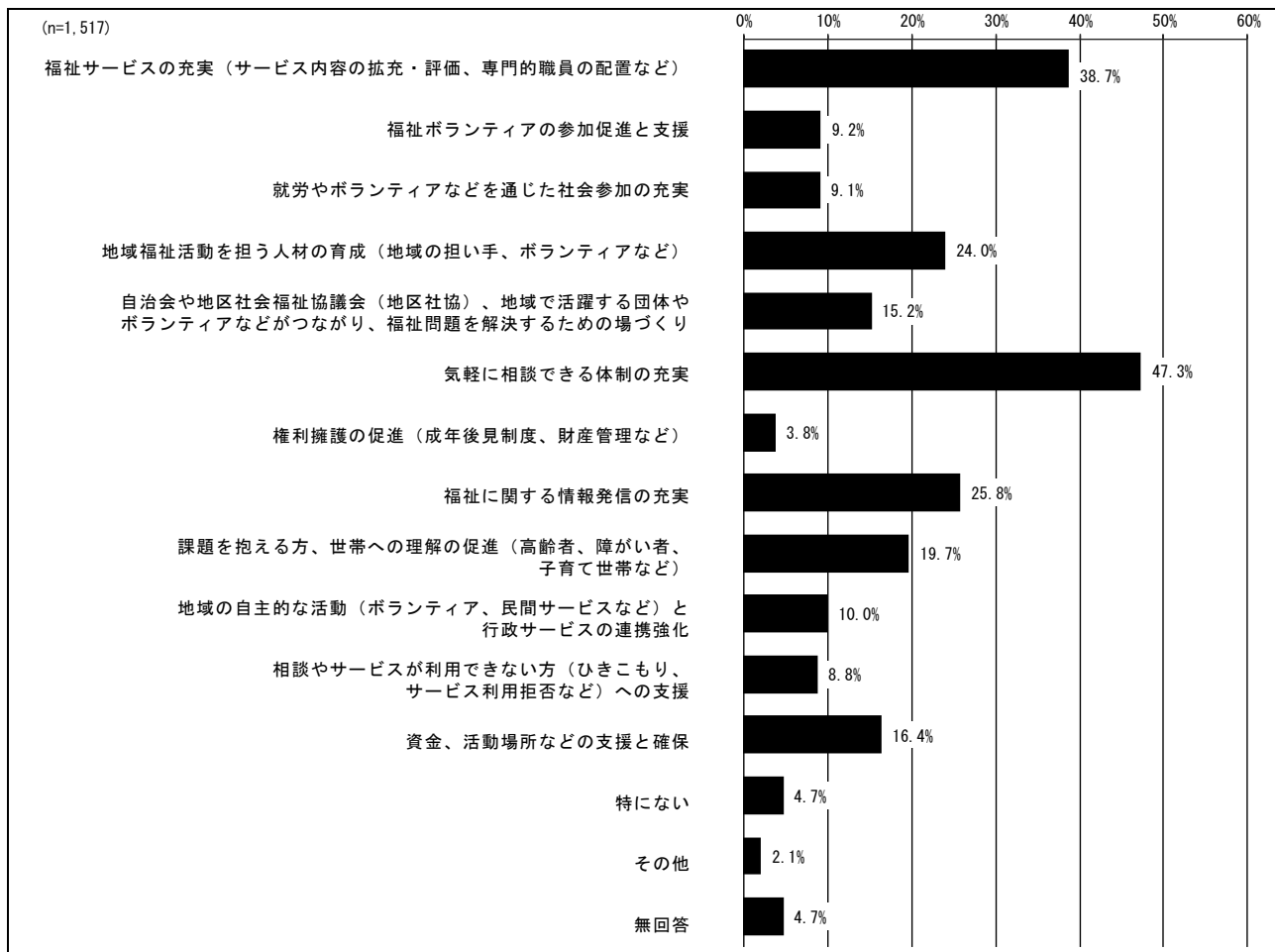
① 社会福祉協議会に充実してほしい活動・支援 [MA]

今後、社会福祉協議会に充実してほしい活動・支援についてみると、「気軽に相談できる体制の充実」が48.5%で最も高く、次いで「高齢者、障がい者、ひとり親家庭、産前産後の方への日常的な生活支援」の27.2%と続いている。



② 行政が取り組むべき事 [MA]

行政が取り組むべきこととして重要と思う事についてみると、「気軽に相談できる体制の充実」が47.3%で最も高く、次いで「福祉サービスの充実（サービス内容の拡充・評価、専門的職員の配置など）」の38.7%、「福祉に関する情報発信の充実」の25.8%と続いている。



座間市地域福祉計画（第四期）

誰もが安心して暮らせる、ともに助け合い支え合うまちづくりを目指して

発行日：令和3年（2021年）3月

発行：座間市

編集：座間市福祉部福祉長寿課

〒252-8566 座間市緑ヶ丘一丁目1番1号

TEL 046-255-1111（代）

FAX 046-255-3550